

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

副腎腫瘍の鑑別における 3-material decomposition 法の有用性の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年1月～2023年12月までに当院にて腹部、腹部～骨盤、胸部～骨盤の Dual Energy CT 検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

副腎病変の多くは、健康診断や様々な疾患の精査過程で偶発的に発見されることが多い現状にあります。副腎偶発腫のほとんどが腺腫ですが、CT 画像上腺腫と悪性病変の区別が難しい症例をしばしば経験しました。副腎病変が悪性の場合、転移などの可能性を否定するため追加の検査が必要となりますが、追加の検査を行う場合は予約の都合上1か月後ようやく MRI 検査を行うといった場合があり、診断にかかる時間や費用、不安感など患者さんにかかる負担は大きくなります。副腎腺腫は他の腫瘍に比べて脂肪を多く含んでおり、Dual Energy CT における 3-material decomposition 法と呼ばれるデータ解析を行うことで、対象とする副腎病変内の脂肪密度値を得ることができます。そこで、脂肪密度値の違いから副腎腺腫と悪性腫瘍の鑑別が可能か検討を行うことを目的としました。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査後、委員会から発行される審査結果通知書の承認日より、研究機関の長の研究実施許可を得てから 2024年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

当院にて腹部、腹部～骨盤、胸部～骨盤の Dual Energy CT 検査を受けられた患者さんの中から、患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴）、CT 画像、CT 値、物質密度値。また、CT 検査の他に検査を行った患者さんにおいて血液検査データ、MRI 画像所見、超音波画像所見、病理組織診断結果についても対象と致します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについても患者さんもしくは患者さんの代理人のかたにご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学大学院 保健医療学研究科 診療放射線領域 / 昭和大学病院 放射線技術部

氏名：石埜 靖一郎

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8000

研究責任者：石埜 靖一郎